



第232回 物質循環談話会

2024年7月16日(火)13:30-15:00

13番教室（理学部C棟1階）

SPEAKER: **岩木真穂** 博士

(信州大学 理学部 諏訪臨湖実験所／特任助教)

TOPIC

どれほど前の降水が現在の湖の水位に影響を及ぼすのか？

湖や河川における水量の変化を求める上での基本的な手段として、水位を測定する方法があります。一般的に、湖の水位は、湖への流入量と湖からの流出量の収支によって長期的にはバランスしていますが、湖の水位を構成する各要素は、それぞれ異なる時間的スケールや空間的スケールを有するため、時々刻々と変化しています。様々な時間スケールを有する湖の水位変動を可能な限り正確に解析し、理解することによって、外部からの異なった入力に対する湖の応答関係を明らかにすれば、水の流出入動態を記述できるかもしれません。本講演では、これまでに琵琶湖とその集水域にて行ってきた研究について紹介します。



琵琶湖の北湖から見た伊吹山



伊吹山の山頂から見た琵琶湖

<キーワード>

自然環境動態、陸水(物理)学、水文学、湖沼、水位、水温、光量子、積雪水量、地震静振

☆☆☆興味のある方はお気軽に御参加下さい☆☆☆

物質循環学コース4年生、院生はセミナーの単位(必修)です。